

平成30年度 三島地域ふるさと創生基金事業 事業提案調書

みしまコミュニティ推進協議会  
会長 難波光男

＜提案者＞所属・氏名

1. 事業計画書

事業名	みしまコミュニティまつり
事業目的 事業内容	<p>【目的】</p> <p>○平成30年度は、みしまコミュニティセンター開設10周年という節目にあたる。 ○地域住民にコミセンをより一層理解してもらい親しんでもらうための「まつり」と、地域住民相互が交流できるコンサートを開催したい。 ○まつり終了後もコミセンへ足を運んでもらえる機会を作り、利用を拡大していきけるよう工夫したい。</p> <p>【内容】</p> <p>■コミュニティまつり ○コミセン施設利用文化団体の活動紹介の作品展示 ○コミセン施設利用芸能団体の活動紹介の発表会 ○幼児や小中学生が集える事業 ○コミセン活動の理解度を深めるための施設開放 など</p> <p>■記念事業：コミュニティコンサート♪ ○三条市出身のシンガーソングライター「佐藤英里さん」を5年振りにお迎えし、記念コンサートを開催する予定。 ○英里さんの成長の様子を感じつつ、交流を楽しむ。</p>
事業実施までのスケジュール	<p>【スケジュール】</p> <p>1月           みしまコミュニティ推進協議会運営委員会にて概略を検討 3月           みしまコミュニティまつり検討委員会（実行委員会）発足</p> <p>4月～10月   具体的な計画の策定。関係者との連絡調整。会議・準備（随時） 10月27日    前日準備・リハーサル 10月28日    コミュニティまつり実施</p>
実施主体	みしまコミュニティ推進協議会
備考	

## 2. 収支予算書

### 収入の部

(単位:円)

項 目	予算額	内 訳
ふるさと創生基金事業	500,000	
自己資金・特定財源等		
合 計	500,000	

### 支出の部

(単位:円)

項 目	予算額	内 訳
1 記念事業費	400,000	コミュニティコンサート 350,000 チラシ印刷 50,000
2 コミュニティまつり費	84,000	体験教室教材費 20,000 イベント団体謝礼 30,000 機材レンタル借上料 30,000 保健所申請 4,000
3 事務消耗品費	16,000	郵送料 等 16,000
合 計	500,000	

※平成 30 年 1 月 10 日(水)までに事務局(地域振興課)へ提出してください。

平成 30 年度 三島地域ふるさと創生基金事業 事業提案調書

＜提案者＞所属 みしま観光協会 氏名 小林 裕

1. 事業計画書

事業名	三島地域の魅力発信事業
事業目的 事業内容	<p>【目的】</p> <p>三島地域の良質な湧水で製造される日本酒や味噌、長岡うまい米コンテストで連続入賞のコシヒカリなど、全国に誇れる特産品を県内外や首都圏・全国へ発信し、新たな市場を開拓するとともに、生産者自身が直接消費者と接してニーズを把握することで、さらなる品質の向上につなげるもの。</p> <p>【内容】</p> <p>首都圏での試食・販売のPRイベントを開催【3日間】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・実施場所：第四銀行ブリッジにいがた(東京都中央区日本橋)</li> <li>・実施期日：H31年2月15日(金)～17日(日) ⇒ 初の金土日開催</li> <li>・売上目標：H29年度売上額の20%UP(昨年実績550千円)</li> <li>・実施内容：コシヒカリ、新之助、日本酒(中川、河忠)、味噌、野菜、脇野町鋸など三島の特産品販売              : 集客イベント(ごはん、漬物、日本酒などの試食・試飲)              : 観光パンフレット、地域紹介DVD放映</li> <li>・その他：集客増のための取り組みとして、ポスターを作製しJRや三越等の近隣デパートに掲示依頼するほか、首都圏みしま会会員から店先での呼び込み等の協力を依頼</li> </ul>
事業の実施までのスケジュール	<p>【スケジュール】</p> <p>6月 事業計画作成(事業内容、スケジュール、予算)</p> <p>7月 説明会開催・出店者募集</p> <p>8月～ 出店者打合せ(随時)、ポスター等デザイン検討・作成</p> <p>12月 会場利用申請</p> <p>1月 出店者最終打ち合わせ</p> <p>開催日：H31年2月15日(金)、16日(土)、17日(日)と初の週末3日間開催で予約確定したので、これまで以上の来場者数が期待できる。早めに出店者募集及び装飾等準備品の検討、スケジュールを調整する。</p>
実施主体	みしま観光協会 会長 小林 裕
備考	

## 2. 収支予算書

### 収入の部

項目	予算額	内 訳
ふるさと創生基金	770,000	補助金 770,000 円
自己資金・特定財源等	70,000	首都圏PRイベント 7者 × 10,000 円 = 70,000 円
合 計	840,000	

### 支出の部

項目	予算額	内 訳
会場借上料	162,000	ブリッジにいがた 3日間 × 54,000 円 = 162,000 円
装飾品等送料	20,000	会場装飾品等の往復送料 20,000 円
旅 費	374,000	交通費相当額 11人 × 18,000 円 = 198,000 円 宿泊費相当額 11人 × 16,000 円 = 176,000 円
会場装飾費	35,000	のぼり旗、看板、横断幕、材料費ほか 35,000 円
印刷費	60,000	PR用ポスター印刷 50,000 円 店頭配布チラシ、アンケート用紙ほか 10,000 円
集客イベント経費	120,000	抽選会景品代 7者 × 5,000 円 = 35,000 円 街頭配布ティッシュ等(5,000個) 40,000 円 お楽しみ袋資材費 15,000 円 呼込みPR謝礼 10人 × 3,000 円 = 30,000 円
贈答袋等作製費	35,000	贈答袋等のオリジナル品 35,000 円
郵送料	20,000	ポスター掲示依頼、DM郵送料等 20,000 円
手数料	4,320	振込手数料 5件 × 864 円 = 4,320 円
消耗品費	9,680	事務用消耗品費 9,680 円
合 計	840,000	

平成30年度 三島地域ふるさと創生基金事業 事業提案調書

<提案者>所属 花咲けみしま実行委員会 氏名 野崎 允

1. 事業計画書

事業名	みしま花いっぱい事業（お正月寄せ植え講習会）
事業目的 事業内容	<p>【目的】 お正月用の花の寄せ植えを実行委員会で作成し、完成した作品を各町内会の集落センター等へ飾り、お正月ムードを高めてもらうとともに、当実行委員会が地域活性化に向けた取り組み団体であることを広く知ってもらい、花を通じて「人の輪」と「まちづくり」の推進を図るとともに、栽培に関する知識や技術の向上を目指す。</p> <p>【内容】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 作品を各町内会の集落センター等に飾ってもらい、活動の趣旨を広く周知する。</li> <li>○ 花を育てながら「人の輪」を広げ、三島地域内外の「緑花推進」を図る。</li> <li>○ 講習会を行い知識と技術の向上を図る。</li> </ul>
事業実施 までの スケジュール	<p>【スケジュール】 12月 講習会及び作品の制作</p> <p>作品は各町内会区長の飾る場所等の意向（希望）を確認し、集落センター等の希望の場所へ配送する。</p>
実施主体	<p>主体：花咲けみしま実行委員会 委員長 野崎 允 協力：三島支所産業建設課、長岡市花テラス</p>
備考	<p>※ 本事業で得られる知識や技術を研鑽しながら、今後は実行委員会で花から栽培し、花苗やお正月用寄せ植え等の販売を実施していきたい。</p>

## 2. 収支予算書

### 収入の部

(単位：円)

項 目		予算額	内 訳	
ふるさと創生基金		180,000	補助金 180,000	
自己資金・特定財源等	参加費	30,000	会員 1,500円×20人 30,000	
合 計		210,000		

### 支出の部

(単位：円)

項 目		予算額	内 訳		
材料費		86,500	材 料		
			花 (6種類)	25組 × 2,500円	62,500
			培土	15袋 × 600円	9,000
			鉢	25コ × 600円	15,000
講習会費		96,500	材 料		
			花 (6種類)	25組 × 2,500円	62,500
			培土	15袋 × 600円	9,000
			鉢	25コ × 600円	15,000
			講師謝礼		10,000
運搬費		3,000	配送用車両借上 3,000		
事務費		24,000	消耗品 (用紙、ビニール袋ブルーシート等) 24,000		
合 計		210,000			

平成30年度 三島地域ふるさと創生基金事業 事業提案調書

＜提案者＞所属 みしま観光協会 氏名 会長 小林 裕

1. 事業計画書

事業名	和算の里みしま・歴史を創ってきた先人に学ぶ
事業目的 事業内容	<p>【目的】 三島地域では江戸時代に日本で独自に発達した算術の「和算」に優れた大家（算者）を多く輩出しており、近隣に例がないほど和算を学ぶ人が多かったと言われている。三島町史に掲載された地域に残されている算額の調査を、平成29年度から引き続き継続して行う。さらに、この地域の宝を後世に伝えていくために情報を発信し、次世代が誇りと愛着を持てるコミュニティの醸成を図る。</p> <p>【内容】</p> <p>(1) 和算・算額の調査 ・・・県内の三島ゆかりの算額を調査、和算の先進地視察</p> <p>(2) 算額の復元 ・・・三島地域に関係する算額の復元、制作</p> <p>(3) 和算体験コーナーの設置 ・・・和算、算額の紹介と体験コーナーを設置</p> <p>(4) みしま算額復元展の開催 ・・・産業まつりに合わせて算額復元の展示</p> <p>(5) 「みしまの和算・算額・算者のまとめの誌」作成 ・・・三島地域に関係する算額、算者の冊子作成</p>
事業実施 までの スケジュール	<p>【スケジュール】</p> <p>5月～ 事業計画、収支計画の作成、補助金交付申請 事業計画等について関係機関、団体、町内会等と調整（随時） 和算、算額、算者調べ</p> <p>7月～10月 展示パネル・復元額の調査、制作</p> <p>8月～10月 和算・算額の調査、先進地視察</p> <p>11月 みしま算額復元展、和算体験コーナー設置 （産業まつり、郷土資料館開館記念日 11/3 にあわせて開催）</p> <p>11月～2月 「みしまの和算・算額・算者のまとめの誌」作成</p>
実施主体	みしま観光協会 会長 小林 裕
備考	

## 2. 収支予算書

### 収入の部

(単位:円)

項目	予算額	内 訳	
ふるさと創生基金	350,000	ふるさと創生基金事業補助金	350,000
自己資金・特定財源等			
合 計	350,000		

### 支出の部

(単位:円)

項目	予算額	内 訳	
謝金	32,000	体験コーナー謝金	8,000円×2団体×2回 32,000
消耗品費	23,000	体験コーナー消耗品	一式 8,000
		復元展消耗品	一式 15,000
展示パネル制作費	100,000	復元額(1面)	80,000
		解説パネル	一式 20,000
印刷製本費	75,000	算額復元展リーフレット	一式 10,000
		算額復元展・体験コーナーチラシ	一式 25,000
		まとめの冊子印刷	一式 40,000
賃借料	120,000	調査・視察等バス借上げ料	120,000
合 計	350,000		